

## 八ヶ岳 広河原沢右俣クリスマスルンゼ & 3ルンゼ

大田原

【日時】 2012年12月23日(日)～24日(月)

【メンバー】 L小暮(憲)、小暮(智)、佐藤(里)、大田原

3連休の2日目。船山十字路は車で溢れ返っていた。小暮車はすごい恰好で何とか駐車、大田原車は止められず、少し戻って駐車。恐るべしアイス人気…。

広河原沢の道はよく踏まれておりあつという間、二俣にベースを設置してクリスマスルンゼへ。すでに2パーティー取りついており、少し待って下段の左側をサトリカさんがリード。スルリと上へ抜け、先行パーティーの落氷を避けてハンギングビレイ。お見事です。3人も後続し、他パーティーが上段を登り終えて下りるのを待つ。上段の一番登りやすい凹角は水が滴っているようで、あまりよくなさそうである。小暮さんの勧めに乗せられて、今シーズン初アイスの私が右側をリード。短いがとても立っている…。1手ごとにフィフフィで休みながら何とか越える。あ～怖



【大賑わいのクリスマスルンゼ】



【ラッセルしながら段差をこなす】

かった

…。サトリカさんがフォローであつという間に登り、二人で懸垂。一番下まで下りて休憩タイム。やはり八ヶ岳は寒い。ダウンも着込む。その間、小暮夫妻が上段のリードを練習している様子であった。「立ってる右側の方が好き」という小暮さん、さすがあつと難しそうなラインをリードしていった。その後サトリカさんも上段のリード練習をし、今日の練習を終了した。よく踏まれた道は、当然ながらカチカチに凍っており、緊張しながらテン場に戻った。夜はいつもの宴会。小暮(智)さんの用意してくれたスイーツを皮切りに、食べきれないほどのごちそうが次々登場したのであった。

翌朝は気合を入れて暗いうちから出発、3ルンゼへ入る。踏み跡が残っており、今のところラッセルには苦勞しない。ひたすら歩いていくと、沢が狭まり、小滝が現れる。とくにロープも必要なく、足慣らしな感じ。この頃からトレースが分かりにくくなり、ラッセルになってくる。またもやひたすら歩いていくと、ようやく3ルンゼ入り口だ。再びラッセルしながら進むと2段の滝登場。ようやくクライミング♪と思われたが、下部は半分くらい雪で埋まっているようでロープ不要、上部のみサトリカさんがロープを引いて越える。すぐ上では右手の枝沢と思しき所に氷瀑がかかっているが、3ルンゼは左かと判断しラッセルを続けた。どうも今年の3ルンゼは雪が多いようで、結局アイスクライミングらしいことをしないまま、源頭のつながっていない氷を横目に南稜へトラバース、3ルンゼは終了してしまったのであった。帰りは南稜に残るトレースを辿り、青ナギから広河原沢へと降り立った。



【雪に埋もれた2段の滝】

今回、2駆のコンパクトカーではアイスのアプローチの限界を感じた。車を停めるときにも出すときにも他パーティーの方が車を後ろから押してくださった。こんな車で来ちゃってすみません。皆様本当にありがとうございます！



【雪原に謎のヒトデ出現！】

#### 【行程】

12/23 船山十字路(7:50)～二俣(8:50/9:35)  
～クリスマスルンゼIC(10:55/16:15)～二俣  
BP(17:05)

12/24 二俣BP(5:40)～3ルンゼ出合(8:25)～  
南稜(11:05)～青ナギ(12:00/20)～二俣  
BP(13:15/14:00)～船山十字路(14:45)

【地図】八ヶ岳西部